

冬はやはり  
星座です  
☆アルデバラン  
おうし座  
☆オリオン座

# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.366

2021(令和3)年11月5日(金)発行

■11月5日は世界津波の日。1854(安政元)年11月5日安政南海地震が起こり、和歌山県広川町に津波が押し寄せ、稲むらに火をつけて村人を高台に導いて救った「稲むらの火」の故事から、2015年国連総会で制定。



■はらまち九条の会 は、戦争放棄の憲法9条を守り、永久に「戦争をしない国・日本」であることを願い、「鈴木安蔵の出身地の九条の会」を誇りに活動する自由な市民の会です。支持政党や宗教を問わず、何の拘束もなく、匿名でも入会できる気軽な会です。■結成は2005年12月で、今年で16年目。隔月で会報を発行。■会員は南相馬市原町区を中心に375名。■会費は年千円。  
◀本会のシール「鳩を抱く少女」(デザイン:朝倉悠三さん)

十月三十一日(日)の総選挙について、会員の皆さんに電話で感想を聞きました。

## へ総選挙の結果へ私はこちら思う

- ◆今回の選挙で福島県民は極めて妥当な投票をしたと思います。(70代・男性)
- ◆マスコミの報道にも問題があったと思います。総裁選は毎日報道してうんざりでした。ところが総選挙の報道は少なく、選挙後は「立憲はダメ政党」という報道が強く、マスコミが自民党に忖度していると思う。(60代・男性)
- ◆自民党が依然として強く、どうして国民は自民のひどさが分からないのか、大変ショックでもうがっかりです。私は二大政党制で交替して政権をとるのが理想とっていて残念です。それに女性や母は命を産み育て、戦争に反対するものですが、高市早苗議員のように戦争を美化して靖国に参拝し、軍備増強を主張する女性議員なんて信じられず許せません。(70代・女性)
- ◆立憲が議員を増やすとっていたが、期待外れでした。やはり立憲は上っ面のことでなく、しっかりした政策を出して訴えてほしかった。(80代・男性)
- ◆維新と国民民主と自民が、憲法改悪に向かうのかと心配です。(50代・女性)
- ◆落選しても比例区で復活当選に疑問を持ちました。1選挙区数名当選にして死票が少ない昔のような中選挙区制に変えてほしい。(60代・女性)
- ◆立憲の金子恵美さんの当確が深夜に出てホッとしました。相双地区で金子さんが勝ったのは南相馬市だけで、他の市町村は自民の亀岡偉民氏が勝っています。相双の住民は「汚染水の海洋投棄」を支持しているのか。被害者が加害者を支持していると同じです。福島県全体では立憲3勝、自民2勝ですから、「汚染水の海洋投棄」に対し県民は反対の方が強いということです。(70代・男性)
- ◆公文書の改ざん等をしてよしとする政権はダメ、と野党共闘ができて進められましたが、残念な結果でした。「市民と野党共闘」は緒についたばかりです。もっと発展させて政権を取れるよう目指してほしい。(70代・男性)



### 〇事務局会で話し合ったことは・・・

1. 市民連合の共闘を今後も継続していきたいものです。
2. 若い人への働きかけ、呼びかけを考えなければいけないと思います。大きな課題です。
3. マスコミが自民党に肩入れしているが、野党の方へ振り向かせるような工夫が必要です。
4. 南相馬市民が立憲の金子恵美さんを選び、嬉しいことです。今後も応援していきたい。



ジェンダー克服が課題の中  
**勇気ある二人の女性**

《岸田首相に手紙を書いた  
**赤木雅子さん**》

●夫の俊夫さんが公文書の改ざんをさせられ自殺した真相を明らかにしてほしいと、赤木雅子さんは悩み続けた末に、「人の話をしっかり聞くのが特技」と言う岸田新総理にく右>の手紙を書きました。●妻や家族としてごく当たり前のことです。対応に注目です。

《暴行被害を、自ら顔や  
 氏名を公表し告発している  
**伊藤詩織さん**》

●フリージャーナリストの伊藤さんは、2015年4月3日深夜に当時TBSテレビの政治記者山口敬之氏と会食後記憶を失いホテルで乱暴されたと、警視庁に準強姦容疑で被害届を出しました。●山口氏には逮捕状が出ていましたが突然逮捕は取り止めになります。それは安倍元総理と中村格刑事部長、山口氏との親密な関連が憶測されていて、2021年9月に中村氏は警察庁長官に昇進、大栄転しました。

内閣総理大臣  
 岸田文雄様

〒100-0014 東京都千代田区永田町  
 2丁目3-1  
 総理大臣官邸  
 内閣総理大臣 岸田文雄様

私の話を聞いてください。

私の夫は三年半前に自宅で首を吊り亡くなりました。

亡くなる一年前、公文書の改ざんをした時から体調を崩し身体も心も壊れ最後は自ら命を絶ってしまいました。

夫の死は公務災害が認められたので、職場に原因があることに間違いありません。財務省の調査は行われましたが、夫が改ざんを苦に亡くなったことは書かれていません。なぜ書いてないのですか？

赤木ファイルの中で夫は改ざんや書き換えをやるべきではないと本省に訴えています。それにどのように返事があったのかまだわかっていません。夫が正しいことをしたこと、それに対して財務省がどのような対応をしたのか、調査してください。そして新たな調査報告書には夫が亡くなったいきさつをきちんと書いてください。

正しいことが正しいと言えない社会はおかしいと思います。岸田総理大臣ならわかってくださると思います。

第三者による再調査で真相をあきらかにしてください。  
 (2021年10月6日投函) 赤木雅子

**塗りつぶされ消された中村哲氏の肖像画**

＝タリバン政権のアフガニスタンはどんな国になるのか＝

昨年首都カブール中心部の交差点の壁に描かれていた中村哲医師の肖像画。《左》

今年8月15日タリバンが首都を占拠し、《右》のように肖像画は白く塗り消され、「独立おめでとう」と書き込まれてしまいました。タリバン政権は中村医師の活動をどう見ているのでしょうか。



◆2001年の9.11テロで始まった米軍のアフガン攻撃。当時の小泉純一郎政権はブッシュ政権を即刻支持し、急遽「テロ対策特別措置法」を成立させ、イージス艦、補給艦などをインド洋に派遣して米軍を支援しました。しかし大量破壊兵器は発見されず、誤った判断でした。◆ところが、アフガンで井戸を掘る活動を続けていた中村哲医師は、日本大使館の命令で帰国させられ、国会の参考人招致で「自衛隊のアフガン展開は有害無益」と語ると、自民党議員らは中村医師に罵声と嘲笑を浴びせた。しかし中村医師は淡々と「理不尽な武力行使は敵意を増すばかり」「大旱魃と飢餓対策こそが緊急課題」と述べた。◆アメリカによる“テロとの戦い”が完全失敗に終わった今、米軍に加担した日本にも大きな責任があり、その検証が必要ではないでしょうか。